

様式第7号







議長	副議長	局長	次長	係長	



行政視察報告書

令和5年10月10日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 大月 隆司  議員 
 議員  議員 
 議員  議員 

下記のとおり地方自治情報化推進フェア2023に出席したのでその報告します。

記

【1】地方自治情報化推進フェア2023

住 所	千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目1
電 話	043-296-0001
視察案件	地方自治情報化推進フェア2023
期 日	令和5年10月5日(木) 9時30分 から 17時30分 まで
応 対 者	
状 況	別紙写真のとおり
訪問施設	幕張メッセ Hall 9～11
概 要	10月5日(木)
	9:30 開場
	10:00 講演① 『DXを用いた地方創成—誰もが暮らしやすい倉敷市を目指して—』
	倉敷市長 伊東香織
	倉敷市では中核市市長会の「自治体クラウド実現に向けた研究会」にて標準化推進を図り、ガバメントクラウド上で2023年1月に国の標準システムに準拠した住民記録システムなどを国内で最初に稼働させました。この取り組みや、地域ポータルでの行政手続きのオンライン化などDXを用いた地方創生について説明。

概 要	<p>講演内容</p> <p>地方公共団体情報システム標準化について倉敷市では、中核市市長会の研究会で中心的な役割を果たし、せとうち3市（倉敷市・高松市・松山市）で共同調達に向け研究会を発足し令和2年10月に自治体クラウドの推進に係る協定書を締結し、令和3年4月には「住民記録・印鑑党則システム」等の調達を実施した。</p> <p>また、国の「ガバメントクラウド先行事業（基幹業務システム）」に応募しせとうち3市で採択されている。</p> <p>令和4年9月には全国で初めて標準仕様書に準拠した住記・印鑑システムを本稼働し、令和5年1月には住記・印鑑・保健福祉総合システムなどをガバメントクラウドにリフトしている。</p> <p>国では地方公共団体システム標準化基本方針を示し、令和7年度までにガバメントクラウドを活用した標準化システムへの移行を目指している。基幹系業務標準化に向けて3つの課題がある。1つめは財政支援措置である。国の補助上限額の見直しを行い、全額を国庫補助で対応する財政措置が必要である。また、標準仕様書の改訂版や法改正などに伴う改修費用について自治体の費用負担や業務負担にならないように国の負担で行うこと。</p> <p>2つ目は、移行スケジュールについてである。令和7年度までに標準化大賞20業務すべて移行を完了することは難しく、自治体の状況を踏まえて適切な移行期間を設定するなど柔軟な対応が必要である</p> <p>3つ目はガバメントクラウド構築及び利用に際しての費用算定についてである。令和5年9月時点ではガバメントクラウド対象クラウドサービスはいずれも外資系となっている。また先行事業で利用しているクラウドサービスは1社のみで利用料がドル建て、為替レートの動きに大きく影響を受ける。そのため予算が定まらない。国内企業の参入を求める声がある。国は、自治体がガバメントクラウド内にシステム構築するにあたっては、自治体に財政負担が生じることのないよう対応してほしい。</p> <p>倉敷市は、先進自治体として取り組みを進める中、以上の課題を示し今講演で報告があった。また、高梁川流域連携中枢都市圏でも令和4年度からDX推進事業を開始し各自治体のDX推進に向けて現状把握と課題整理に取り組み圏域全体の発展を目指している。</p>
-----	---